

## ご挨拶

コロナウイルスの存在が騒がれ始めてから半年が経った今でも、多くのイベントが中止・延期を余儀なくされています。そんな中、少しずつではありますが現場での仕事も増えてきました。

長い休業期間を経て体力が落ちていたり、体がついていけないことがあるかもしれません。改めて気を引き締め、怪我や事故のないよう業務に臨みましょう。

## 現場でのコロナ対応例

スタッフ、来場者共にコロナ追跡システムやコロナ接触確認アプリの各自インストール、入場時の検温、連絡先の記入など、現場での決まりごとが増えました。大阪では現場でのアルコール除菌キットを導入し、1日の終わりに使用したトランシーバーや工具を全て除菌するようにしています。

また、事前にPCR検査を受けなければならない現場や、本番前の数日間は何診票を提出するなど、現場ごとに入場時の対応が異なります。事前に必要なことを確認しておきましょう。



▲一定間隔をあけて並ぶ



▲検温をして入場



▲アプリの確認をして体温、連絡先の記入



▲粘膜からの感染を防ぐため配布されたゴーグル

## 熱中症 ~ 症状と対処法 ~

今年は体が暑さに順応していく時期に自粛生活を強いられたため、例年より暑さへの耐性ができていません。そのうえ日常生活ではマスクを着用することが多くなり、熱中症になりやすい状況ができています。気温が31℃以上の日には熱中症のリスクが「危険」レベルにまで上がります。炎天下での作業が多い仕事のため、お互いが気を配ることも大切ですが、自身の体調をきちんと管理しましょう。

大量の汗・めまい・ふらつき  
こむら返り

日陰で休む  
水分・塩分補給



頭痛・吐き気・嘔吐・倦怠感  
集中力の低下・意識が朦朧とする

涼しい場所で衣服を緩める  
足を高くして横になる  
額や首筋、脇の下、足の付け根を冷やす  
→医療機関を受診



意識障害・痙攣・手足の運動障害

救急車を呼ぶ  
意識障害がある場合は無理に水を飲ませない



## 大阪技術部 中川 正人さんが定年を迎えました！！

大阪技術部の施設管理課で、京セラドームへ出向中の中川さんが5月で定年を迎えられました。記念品として赤いポロシャツ・髭剃り・ヘッドルーベと商品券をお渡しし、その際に少しインタビューしてみました。

**Q：日本ステージに入社して楽しかったことや大変だったことはありますか？**

最初の頃は結構楽しかったよ。いろいろ面白かったし、ツアーにも行ったしね。一番の思い出はWFF(世界的ファッションショー)かな。入社2~3年目で、1週間大阪城ホールから出られなかった。気づいたらみんなバタバタ倒れていったよ。吉田次長のEXPOのお化け屋敷はまた行きたい現場かな。笑

**Q：記念品に対して一言お願いします。**

みなさまありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。ちなみに家ではまだお祝いされていません。記念品全部お気に入り！



▲記念品を手に京セラドームにて記念撮影